

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

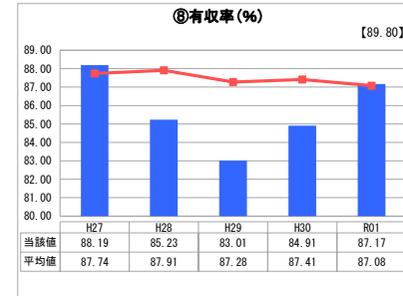
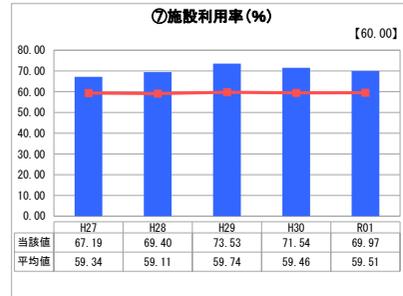
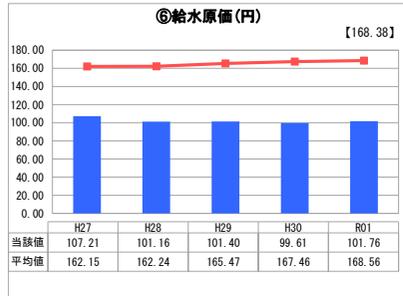
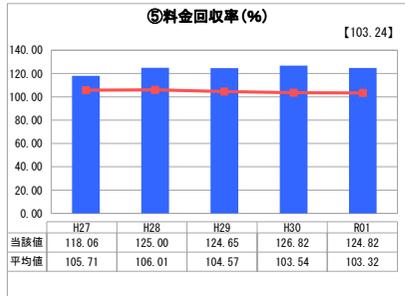
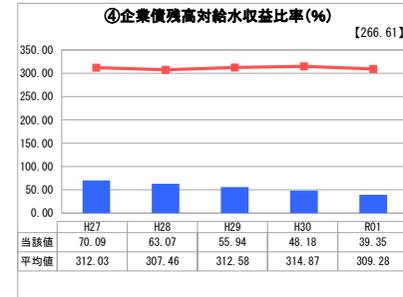
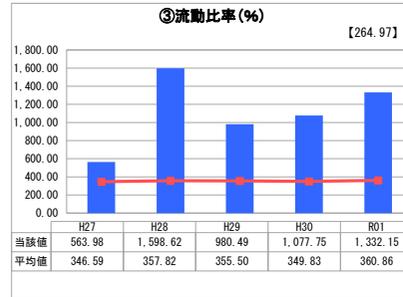
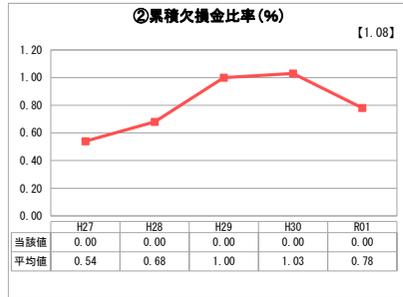
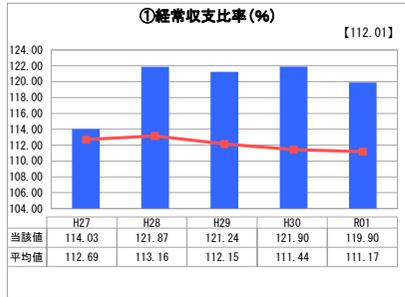
和歌山県 岩出市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	96.75	99.76	2,420	

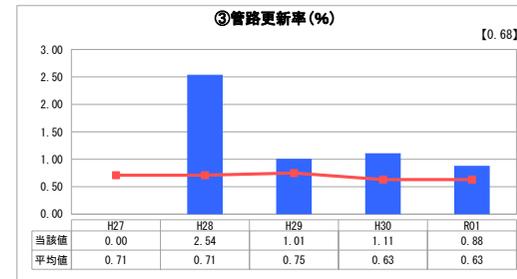
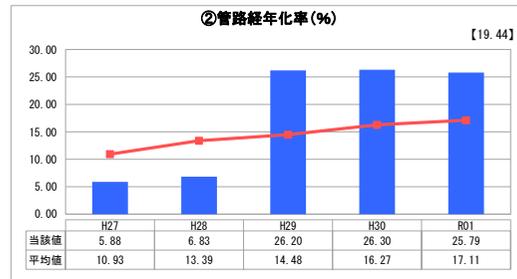
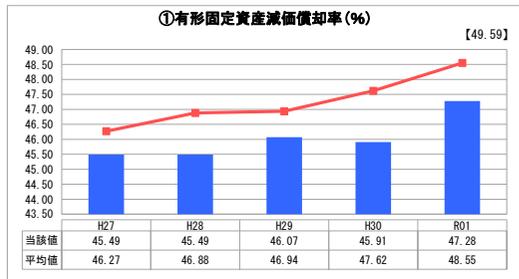
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,994	38.51	1,402.08
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
53,732	25.00	2,149.28

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率について  
経常収支比率は、100%以上であり、健全な経営を行っている。
- ②流動比率について  
流動比率が前年度と比べて増加しているのは、未払金の減少による流動負債の減少が主な要因である。
- ④企業債残高対給水収益比率について  
企業債残高対給水収益比率は新たに企業債の借入れを行っていないため、年々減少している。
- ⑤料金回収率について  
料金回収率は100%以上であり、給水に必要な費用を給水収益で賄っており、健全な経営を行っている。
- ⑥給水原価について  
給水原価は、水源が地下水であるためコストが低く、類似団体平均値を下回っている。
- ⑦施設利用率について  
施設利用率は適切な施設規模であり、類似団体平均値を上回っている。
- ⑧有収率について  
有収率が前年度と比べ増加しているのは、漏水調査を行い早急に修繕を行ったためである。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率について  
有形固定資産減価償却率は、増加傾向にあるが、類似団体平均値を下回っている。
- ②管路経年化率について  
管路経年化率は、横ばいであり類似団体平均値を上回っている。
- ③管路更新率について  
管路更新率は前年度に比べ減少しているが、類似団体平均値を上回っている。

## 全体総括

人口減少や節水機器の普及などによる使用水量の減少とこれに伴う給水収益の減少、老朽化が進行する施設や管路の更新・耐震化などの課題に直面しています。  
これらに対処していくには、多大の事業費と期間を要することから、アセットマネジメントで策定した更新計画を基に施設の延命化、投資の平準化を図るとともに、収納率の向上により自主財源を確保し、健全な経営に努めます。